

### 桂スチール

# 仕口加工を無人化対応

## 岡山第3工場 9月新設備導入へ

桂スチール(本社|| 兵庫県姫路市、三木桂吾社長)は3億5000万円を投じて、9月上旬に岡山第3工場

(岡山県備前市三石)にBH(ベルトH形鋼)の仕口部分の一次加工設備を導入する。導入予定設備は大東精機製

で、ライン全長が60m、切断・穴開け・開先だけなく、スケーラー加工までを無人で行えるのが特徴。導入後、同

社では一次加工の全体の生産性の引き上げに寄与させていく方針。同社は国内最大手のBH業者で、仕口加工

などの一次加工については主に、岡山第3工場に対応していたが、これまでは作業員が切断・穴開け・開先・スケーラーのそれぞれ専用の機につぎ、加工作業を行っていた。ただ、こうした作業の効率化、将来の人手不足に対応していくには一次加工の省力化・無人化への取り組みが必要と判断、設備投資を実施するもの。

導入予定の設備は60mのラインに、材料を送るだけで切断・穴開け・開先・スケーラーが自動で一貫加工できるようにするもので、無人化対応ができる。これにより、BHの仕口部分の一次加工が従来以上に迅速・高精度にでき、加工コストも大幅に削減できることから、さらに競争力を高め、収益力の向上に貢献させていく考え。